

## お茶の時間

防災の日、避難には  
勇気と決断を

佐藤 正 陸自78

9月1日は防災の日です。

今年も7月の熱海土石流災害に続き、8月中旬の西日本一帯の集中豪雨で多くの被害が発生しています。

10年ほど前、大規模土石流災害に見舞われた被災者に対し、被害調査が行われました。その結果分かったことは、大雨や台風の接近が予想され、警報が出ても、それだけで人は避難行動を起こさないということでした。人が避難するのは、浸水や河川の水位の上昇など、実際に災害が起こりはじめたことを覚知してからだそうです。しかし、その段階では、濁流が流れ、道路は塞がれ、すでに避難できる状況ではなかったということです。

避難のタイミングは大変難しいものですが、斜面から水が浸み出す、水が濁る、土臭い匂いがするなど、前兆現象に気づけば、避難行動に結び付ける勇気と決断力を持ちたいと思います。